

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区 横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2023年9月13日 第2519回例会 VOL.55 No.8

■司会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 田川 富男

■出席報告

会員数	18名	本日の出席数	12名
本日の出席率	70.58%	修正出席率	88.89%

■本日の欠席者 宋、中谷、平子、二宮、岡田

■オンライン出席者 福村、佐藤真吾

■斉唱／我等の生業

■ゲスト 赤松靖子様 (An Music Lab 代表)

■8月皆出席祝 田川会員 11年



■会長報告 田川 富男

残暑の頃ですが、朝晩は多少でも涼しくなってきた、天高く秋を感じられる季節。秋といえば「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」そして「スポーツの秋」です。ところで「スポーツ」と「秋」が結びついた理由は

- 1) 秋は、さわやかな気候でスポーツを楽しむにむいた季節 (スポーツ観戦を含め)
- 2) 以前より、学校や企業などが運動会を「秋」に開催 (現在は春もありますが)

3) 前回の東京オリンピック1964年(昭和39年)が10月10日に開会式が行われました。その後にて、10月に『体育の日』が制定されました。

そのスポーツにも個人戦・団体戦もありますが、団体戦でのメジャースポーツと言えば野球・サッカー・バレーボール・アメフト・パリーオリンピック出場が決定したバスケットボールなど。そして、現在、フランスで開催されているラグビーワールドカップです。今回のワールドカップの見どころ等についてラガー安藤さんをお願いしたいと思っております。(後編記載)

皆さんも何かされていますか、自分のスポーツはスポーツジムのルームランナーのみです。

■幹事報告

2023-24年度 横浜旭ロータリークラブ 第6回理事会議案書	
日時 2023年9月6日(水) 13時30分より	出席予定理事 田川 富男 二宮 麻理子 北澤 正浩 佐藤 真吾
場所 岡田様例会場	岡田 隆 安藤 公一 新川 尚 市川 慎二 福村 正
【報告事項】 8月30日(水) 樋口明ガバナー公式訪問への参加、歓迎していただきありがとうございました。	
【審議事項】 令和5年10月15日(日) 第33回旭ふれあい区民まつりに参加申込みされ 旭区役所総務部地域振興課と打ち合わせ 継続審議事項ですが 例会場の決定問題ですが、今だ場所が設定されませんが 二俣川ライフコミュニティサロン申込み予定中です。 但し、使用可能な時期・使用料・使用ルールの確認が出来ていません	

▷例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園 RC

10月10日(火) 休会

10月31日(火)→11月3日(金) 青葉区民祭り

■ 2023年ラグビーワールドカップの楽しみ方

安藤 公一

9月8日から10月28日の決勝までの7週間の戦いが始まりました。ワールドカップ本戦出場国の、20か国がA-Dの5か国ずつの4グループに分かれ、各グループの1位と2位が決勝トーナメントに進みます。決勝トーナメント出場時点で準々決勝進出・ベスト8となります。予選リーグは勝ち点制で、勝利4、引き分け2、7点差以内の負け1、4トライ以上(勝ち負けに関わらず)1となっています。

4戦を全部勝利で4点×4試合=16点、3勝1敗でもすべて4トライ以上していると5点×3試合+1=16点となり、7点差以内で負けていると更に1点もらえて、4戦全勝でボーナス点がない国を上回ることができます。

9月11日にウェールズに敗退したフィージーですが、32-26だったため7点差以内で1点、4トライ以上ボーナスで1点と引き分けと同等の勝ち点を手にすることができたのです。

日本代表は、皆さんご存知の通り、9月10日にチリに42-12で勝利し勝ち点5を手中にしました。今後の日程は、

9/18 午前4時からイングランド、BS NHK

9/29 午前4時からサモア、地上波 NHK

10/8 午後8時からアルゼンチン、地上波 NHK となっています。

ワールドカップ開催前の9/5時点での世界ランキングは、アルゼンチン6位、イングランド8位、サモア12位、日本14位、チリ22位でした。

ラグビーの場合、他の競技とは代表資格が異なっています。

- 1) 代表国の国籍を有する
- 2) 両親・祖父母のうち1人以上が代表国出身
- 3) 代表国所属クラブで5年以上プレー
- 4) 代表国に10年以上居住しているものとなっています。

他の国の代表になったことがあるものでも上記の条件を叶えれば国を変えて(確か1回だけ)出場することは可能です。例えばトンガ出身者

でNZのクラブで活躍しオールブラックスに出されたプレーヤーでもトンガ代表として出場することが近年できるようになりました。

背番号でポジションが決まっています。

フォワードFW:(スクラムを組む8人)
(チリ戦先発メンバー(控え))
プロップPR:1番、3番、(控えは17番、18番)
稲垣、具(ミラー、アサエリ)
フッカーHO:2番(16番)
坂手(堀江)
ロックLO:4番、5番
ディアンズ、ファカタヴァ(アマナキ)
フランカーFL:6番、7番
リーチ、下川(福井)
No.8:8番 コーネルセン
バックス:BK(スクラムの後ろにいる7人)
スクラブハーフSH:9番 流(齋藤)
スタンドオフSO:10番 松田
センターCTB:12番、13番
中村、ライリー(長田)
ウィングWTB:11番、14番
ナイカブラ、松島(レメキ)
フルバックFB:15番 マシレワ

ご存知の通りそれぞれのポジションで求められる役割は異なります。スクラム第一列3人は専門性が必要となるので、必ず控えを入れなければなりません。控えの残り5名は全部FWでもBKでも構いません。

見どころは、接点でのボール争奪戦(ブレイクダウン)です。ラグビーの場合は、寝転んだ状態ではプレーできません。タックルを受けて倒されたら(膝をついても)速やかに一連の動作でボールを離さなければなりません。タックルされた人、タックルをした人以外の両軍ともに2人目の人間がいかに早くサポートに入れるかで争奪戦の勝負が決まります。ボールを持ち込んだ側のサポートが早ければ、ボールが地面にある場合、「ラック」が形成されます。ラックの中では手でボールを扱うことは許されません。地面にボールが付いていないと「モール」となります。いずれの場合も両軍の最後尾にオフサイドラインが形成されその真後ろからでないとならなければなりません。横から入ったりするとサイドエントリーとしてペナルティーが科せられてしまいます。タックルした側が複数いてもこの「モール」や「ラック」は形成されません。ダブルタックルとなるだけです。

ボールを持ち込んだ側の2人目のサポートが遅れると、タックルした側が相手のボールを奪う所謂「ジャッカル」が成功しターンオーバーとなってしまいます。

日本が勝ち進んでD組の1位か2位となる

とC組の2位、1位とのたすき掛けの準々決勝(10月15、16日)となります。C組で勝ち上がってくるのは、おそらく豪州とウェールズと予想されるので、何とかここまで辿り着いて勝利をおさめ、ベスト4になることを祈っています。

■ニコニコBOX

田川 富男／秋になりました。でもまだ暑いですね。アンミュージックラボ赤松靖子さん、旭ロータリーによろこそ。

安藤 公一／①赤松靖子様、ようこそいらっしゃいました。②ラグビーワールドカップでの日本の対チリ戦勝利を祝して。次はイングランド撃破です。侍 JAPANU-18 の世界一を祝して。

北澤 正浩／本日の卓話はゲストスピーカーとして、赤松靖子様にお越しいただきました。赤松様よろしくお願ひいたします。

目黒 恵一／二俣川銀座商店会5年ぶりのフォルテ祭実施になりました。当クラブからも協賛金を頂き誠にありがとうございます。また、ロータリークラブも出店して頂けて本当にありがとうございます。

新川 尚／An Music Lab 赤松様、卓話よろしくお願ひします。

市川 慎二／赤松靖子様、ようこそ本日は卓話宜しくお願ひ致します。

佐藤 勉／赤松様、本日は宜しくお願ひ致します。

■卓話「コンサートの新しい形『音楽+α』聴く感じる話す想像する豊かな時間」

An Music Lab 代表 赤松靖子

《活動実績》

Yokohama Jazz & Tango Live
ひまわりの郷 2021.11.26



An Music Lab 2023

まず、アンミュージックラボは、2019年、世界的に大流行したコロナウィルスの影響で苦しい状況に追い込まれた芸術家、音楽業界の人たちの力になりたいと思い、団体を設立し、国の補助金でコンサートを主催して参りました。

コロナが落ち着いてきた今年からの活動をど

うしていこうかと考えている時に、このCD作品を録音した方達による「銀河鉄道の夜」のコンサートを都内へ観に行き、その世界観にとっても感動しました。文学と音楽のコラボレーションを横浜でも開催したい。それが今回のスタートラインです。



では、今回の事業についてお話をさせていただきます。

①事業概要

朗読とSAX五重奏で彩る
『銀河鉄道の夜』



An Music Lab 2023

朗読とサクソ五重奏で彩る「銀河鉄道の夜」、約30分のコンサートと演奏家、作曲家、観客数名を交えたトークショー約30分のコラボレーションという新しい形のコンサートを企画になった経緯は、そもそも、この元になる作品が35分という短い時間のCDだったからです。

コンサートにするなら1時間はやらないと形にならない。

残りの時間をどうしようか・・・

考えている中で、聴くだけではない、何かとコラボレーションした企画でお客様に楽しんでもらえないかということをおもいつきました。

そこから生まれたアイデアがトークショー(座談会)です。

聴いて感じたことを感動がさめないうちに話す(アウトプット)ことでご自身の心の中で起きている感情に気づいたり、他人の話を聞くことでも新たな気づきを得ることができます。

おしゃべりというプラスαでも、コンサートへ来てよかったという満足感があがるのではないかと考えました。

当初予定したのはこういった内容の公演でした。主にお声掛けした出演者はこちらの方です。作曲家石川亮太さん(ズーラシア動物園から誕

生したスーラシアンブラスに多くの楽曲を提供) サックス奏者田村哲さん。(瀬谷区育ちで希望が丘中学校吹奏楽部の指導者) どちらも旭区にご縁のある方です。

出演交渉をしようと思っていた最中、タイミングよく旭区の文化芸術支援活動があることを知りすぐに申請の準備に入りました。

当初はシンプルに「このCD作品(音楽と朗読の世界)公演を旭区で開催したい」が目的でしたが申請書類には、このコンサートを支援してもらうために私が旭区のためにできることを考えなければならないという課題が書いてありました。

その課題を考えているうちに、心の奥底にあった思いが湧いてきました。

このコンサートを通して、私が育った街、旭区に、文化芸術への理解者を増やしたい!

音楽は、人の心を豊かにしたり、教養を高めたり、美意識を上げることができる素晴らしいものだとは私は考えています。理解者が増えれば、旭区がより良い街に発展するのではないかと。次第に、CD作品を広めたいだけでなく、街づくりに心が動き始めました。

【コンサート+トークショー】 ～新しい取り組み～

- ・余韻が残っているうちに感じたことをざっくばらんに話す。
- ・作曲家の想いを聴く。
- ・演奏家の想いを聴く。
- ・音楽の疑問を専門家に直接聞く。
- ・「銀河鉄道の夜」という作品を深める。

An Music Lab 2023

無事申請が通り、期待を胸に膨らませ4月からレクチャーコンサートを行いながら啓発活動をしてきましたが、早速集客の壁にぶつかりました。

子どものチケットが売れません。

当初は午前中を親子向け、午後を大人向けに分けて、トークショーでは子供たちに舞台へ上がってもらおうと考えていましたが、それが叶わないことがわかり、トークショーは出演者のみとし、2回とも対象を分けない公演を開催することにしました。

大人のチケットも思いのほか売れ行きは伸び

ず、今も戦々恐々としています。コンサート成功のカギとなる集客のためにできることは努力してきました。

童話というカテゴリーにありながら、大人にも難解な「銀河鉄道の夜」を参加者と共に読み解いていく、レクチャーコンサートを開き、まずはこのお話がどんな内容であるか、そして、当日どんな演奏なのか? CDを少しかけたり、解説をしながら7か所で進めて参りました。

以下パワポで確認

チラシは神奈川県内の公共のホール、地区センターに郵送、旭区内の全中学校へ持っていきましたがなかなかチケットの動きがなく、レクチャーコンサートにきてくださったお客様が購入してくださったり、私の知人に声をかけて少しずつ売れているような状況です。

横浜市が発行している広報、旭区版には10月号で掲載していただきます。

プレスリリースを行い、CATVの取材を受けました。昨日からじもつとで宣伝してもらっています。

タウンニュースにもお願いしましたがチケット代の上限を超えているという理由から、無料は難しく、有料掲載は断念しました。

このような現状であります。

ご支援を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

《ミニワークショップ》

コンサートで演奏する曲から1曲「プリオシン海岸」聴いていただき、私が4つの部分に分ける。分けた4か所を2回聴いていただき、1から4、それぞれの音楽から受けるイメージを色で表現してもらいます。

できたら、なぜその色を選んだのか理由を尋ねる。

音楽を通して、こうした新しい楽しみ方ができます。これにより、コミュニケーションを図れたり、潜在意識にアプローチしたり、同じ空間で同じ音楽を聴いた他者の感性に触れることもできます。

こういった形でも音楽の素晴らしさをお伝えできればと考えています。本日はありがとうございました。

■次週卓話

9/27 休会

10/4 米山フォーラム